



特集 被害を未然に防ぐ!

中小企業が取り組むべきサイバーセキュリティ対策

近年、ランサムウェアやエモテットなどのマルウェア(※)によるサイバー攻撃が急増しており、職場で使用するパソコン等の端末が拡大するなど、他人事ではなくなっています。企業活動においても、デジタル化やDX(デジタルトランスフォーメーション)の普及がコロナ禍以降で急速に進められていることから、「サイバーセキュリティ対策」へ取り組むことの重要性が年々高まっています。

そこで今月号では、こうしたサイバー攻撃による被害を未然に防ぐために、中小企業が取り組むべきサイバーセキュリティ対策の基本について解説します。

※マルウェア：不正かつ有害な動作を行う意図で作成された悪意のあるソフトウェアや、悪質なコードの総称。

自社にとって核となる情報を見極め、ポイントを絞って対策を講じましょう。

㈱セキュリティニシアティブ 代表取締役
仙台商工会議所 エキスパート・バンク登録専門家

小笠 貴晴(おがさ・たかはる)氏

インターネット関連サーバーのシステム管理などに15年間従事し、2015年3月、ウェブアプリケーションのペネトレーション(侵入)テストの国際資格「GIAC GWAPT」の認定を受ける。同年4月、㈱セキュリティニシアティブを設立し、代表に就任。サイバーセキュリティに特化したコンサルティング会社として、企業のサイバーセキュリティ対策をサポートしている。



急増するサイバー攻撃の種類を知る

近年、デジタルデータの改ざんや漏えいなど、個人や組織を標的にするサイバー攻撃が急増しており、2021年には、サイバー犯罪の検挙件数が過去最多となっています。サイバー攻撃は、大別すると次の3種類に分けられます。

①OSやソフト、ウェブサイトなどの脆弱性を狙った攻撃

SNSやショッピングサイト、業務システム等におけるソフトウェアの不具合や、OS、アプリケーションの設定上の何らかの不備につけ込み、利用者に損害を与えるものです。

②エモテット

不正メールに添付されたワードやエクセルファイルを感染経路とするマルウェアです。手口自体は珍しくありませんが、エモテットが巧妙なのは実在する関係者からの返信を装う点で、本文もごく自然な文章であることから、つい添付ファイルを開いてしまう危険性が高いのが特徴です(図1参照)。

③ランサムウェア

身代金を意味する「ランサム」と「ソフトウェア」を組み合わせた造語で、感染すると、端末などに保存されているデータを暗号化して使用できない状態にした上で、そのデータを元に戻す対価として金銭を要求する不正プログラムです。要求

自社の取り組みの現状を確認し 着実な対策を積み重ねる

では、社内のできる他の対策について考えてみたいと思います。情報処理推進機構(4ページ参照)や、仙台商工会議所の専門家相談制度を活用するのも一つの手です。また、自社での対策のヒントを得られると思いますので、被害の実例を通して情報共有ができるコミュニティに参加してみることもお勧めします。

自社で新たに取り入れるITツールを選定する際も同様です。使い勝手などで選ぶことが多いと思いますが、サイバー攻撃が多発している現状では、セキュリティ上で何らかの問題が生じた際に脆弱性を公開した上で、しっかりと対策を講じているツールを候補に、専門家に相談しながら選定を進めていくと良いでしょう。

サイバーセキュリティに完璧なものはありません。会社の事業計画を作る際と同じように現状をしっかりと把握した上で、「昨日より今日、少しでも良くしていく」という考え方で、丁寧に取り組んでいくことが大切です。しかし、そのために莫大な費用を投下したり、安全性を重視するあまり、業務効率の低下を招いたりするのは本末転倒ですので、まずは、公的機関が提示している安全な運用方法などを参考に、自社の取り組みをチェックするところから始めてみてはいかがでしょうか。



図1. エモテットへの感染を狙う攻撃メールの例
引用元: (独)情報処理推進機構ホームページ

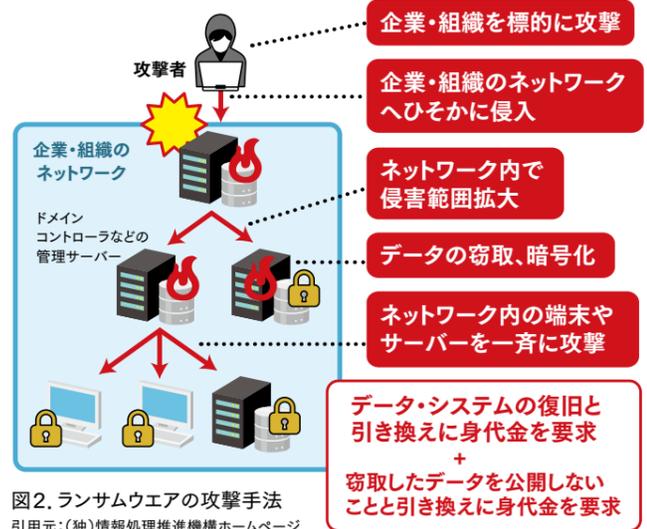


図2. ランサムウェアの攻撃手法
引用元: (独)情報処理推進機構ホームページ

される身代金の金額は比較的払いやすい金額に設定される場合が多く、専門家に対応を依頼するよりも安いため、払ってしまう企業が多いのですが、身代金を渡したからといって、必ずしも全てのデータが復号できるわけではありませんし、破壊しきれないランサムウェアもあるので、慎重な対応が求められます。

対策の基本を押さえて 被害の拡大を防ぐ

このようなサイバー攻撃による被害を避けるために必要な対策の基本を紹介します。1つ目は**コンピューターが安全な状態になるよう、日ごろからアップ**デートをこまめに実行することです。脆弱性が残されたままシステムを使い続けると、攻撃の標的にされ、データの破損や漏えいが起こるリスクが高まります。何らかの事情によってアップデートできないコンピューターがある場合は、ネットワークから切り離しておくことも大切です。

- 企業・組織を標的に攻撃
- 企業・組織のネットワークへひそかに侵入
- ネットワーク内で侵害範囲拡大
- データの窃取、暗号化
- ネットワーク内の端末やサーバーを一斉に攻撃
- データ・システムの復旧と引き換えに身代金を要求 + 窃取したデータを公開しないことと引き換えに身代金を要求

見たら実行させないようにしなければなりません。

3つ目は、**攻撃によるデータ破損に備えて、データのバックアップを保持すること**です。使用中のコンピューターに保存することはもちろん、外付けハードディスクやUSBメモリ、DVDなどの使用中の機器とは異なる媒体に保存したり、クラウドサービス等を利用してネットワーク外にも保管してください。そうすることで、いずれかが攻撃されたとしても、被害を最小限に食い止めることが可能です。ただし、ここで注意したいのは、これらの対策にはコストがかかるということです。ですから、**皆さんの業務上で「攻撃される」と取引先やお客さまに甚大な被害をもたらすとか、最もダメージが大きいという部分」を把握し、その部分を「どれくらいの費用をかけ、どこまで、どのように守るのか」を考えることが重要となります。**

ここまで3つの対策を紹介しましたが、実は最も重要なことは、「**ミスをした人を責めない社内文化を醸成すること**」です。人は誰もがミスを犯しますし、それを隠そうとする生きものです。しかし、攻撃を受けた事実の発覚が遅れば遅れるほど、対策が後手に回ってしまい、どんどん被害が拡大していきます。ですので、被害を最小限に留めるためには、ミスを許し、報告しやすい社内環境をつくっていくことが重要なのです。

企業のサイバーセキュリティ対策を後押しする 支援施策等をご紹介します！



補助金

① IT導入補助金 [セキュリティ対策推進枠]

補助額	補助率1/2以内、補助額5万円～100万円
機能要件	(独)情報処理推進機構が公表する「サイバーセキュリティお助け隊サービスリスト」に掲載されているいずれかのサービス
対象経費	サービス利用料(最大2年分)
お問い合わせ	サービス等生産性向上IT導入支援事業 コールセンター ナビダイヤル 0570-666-424、IP電話等 042-303-9749 ※受付時間:平日9:30～17:30 詳細は、IT導入補助金ホームページよりご確認ください。



IT導入補助金
ホームページ



サイバーセキュリティ
お助け隊サービス詳細

相談窓口

② (独)情報処理推進機構 情報セキュリティ安心相談窓口

対応内容	一般的な情報セキュリティ(主にウイルスや不正アクセス)に関する技術的な相談に対するアドバイス(相談料:無料)
お問い合わせ	(独)情報処理推進機構 情報セキュリティ安心相談窓口 03-5978-7509 ※受付時間:平日10:00～12:00、13:30～17:00 詳細は、情報処理推進機構ホームページよりご確認ください。



セミナー

③ 仙台商工会議所主催セミナー セキュリティの重要性～業務遂行に必要なデジタルリテラシー～

日時	2022年7月25日(月)13:30～15:30
内容	1)セキュリティの重要性について 2)デジタルリテラシー向上が重要な理由、何から着手すればいいのかわか 講師:日本事務器(株) 営業統括部エバンジェリスト 新谷 敏郎 氏
定員	会場40名、オンライン40名(先着順、1社につき1名まで、定員になり次第締め切り) ※本セミナーは、会場または「Zoom」でのオンライン聴講のいずれかを選択の上、ご参加可能です。
お問い合わせ	仙台商工会議所 経営支援グループ 022-265-8127 ※詳細は、仙台商工会議所ホームページよりご確認ください。



リスク対策

④ 商工会議所会員向け 情報漏えい賠償責任保険～サイバーリスク補償型

主な特徴	外部起因・内部起因の事故を幅広くカバー、サイバー攻撃等の際の対応費用を手厚く補償、商工会議所のスケールメリットと加入者ごとのセキュリティ状況を反映した保険料水準(最大68%割引)等
加入資格	仙台商工会議所会員事業所
取り扱い 保険会社	あいおいニッセイ同和損害保険(株)、損害保険ジャパン(株)、 東京海上日動火災保険(株)、三井住友海上火災保険(株)
お問い合わせ	仙台商工会議所 管理グループ 022-265-8125 ※詳細は、商工会議所会員向け保険制度ホームページよりご確認ください。



仙台商工会議所では、サイバーセキュリティ対策を含めたIT導入・活用に関するご相談を
随時受け付けています。お気軽にご相談ください。



問い合わせフォーム

問 仙台商工会議所 経営支援グループ TEL 022-265-8127